

# DATA in 九州



## 今月の注目データ

今月は「一人当たりの本格焼酎年間消費量ランキング」と「熊本県のトマト収穫量」です。



本格焼酎

検索



トマト

検索



熊本県のトマト収穫量

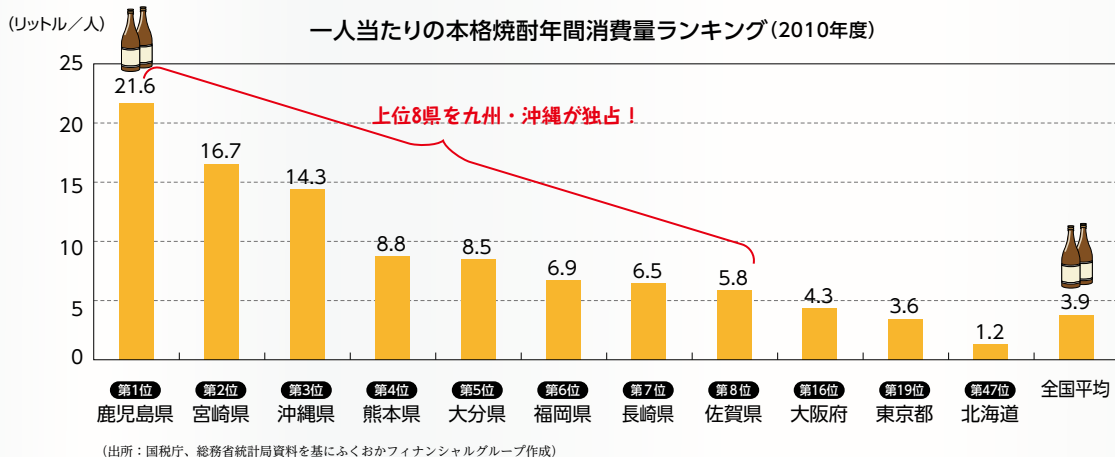




## 一人当たりの本格焼酎年間消費量ランキング

温暖な気候に恵まれた南九州では、米、蕎麦、麦、芋など多彩な作物が収穫され、造られる焼酎も多彩です。代表的な特産品である本格焼酎（単式蒸留焼酎）は、九州・沖縄で全国の9割以上が生産されています。下図をみると、本格焼酎の一人当たりの年間消費量は、全国平均の3.9ℓを大きく上回り、1位が鹿児島県21.6ℓ、2位が宮崎県の16.7ℓをはじめ、上位8県を全て九州・沖縄が独占していることが確認出来ます。

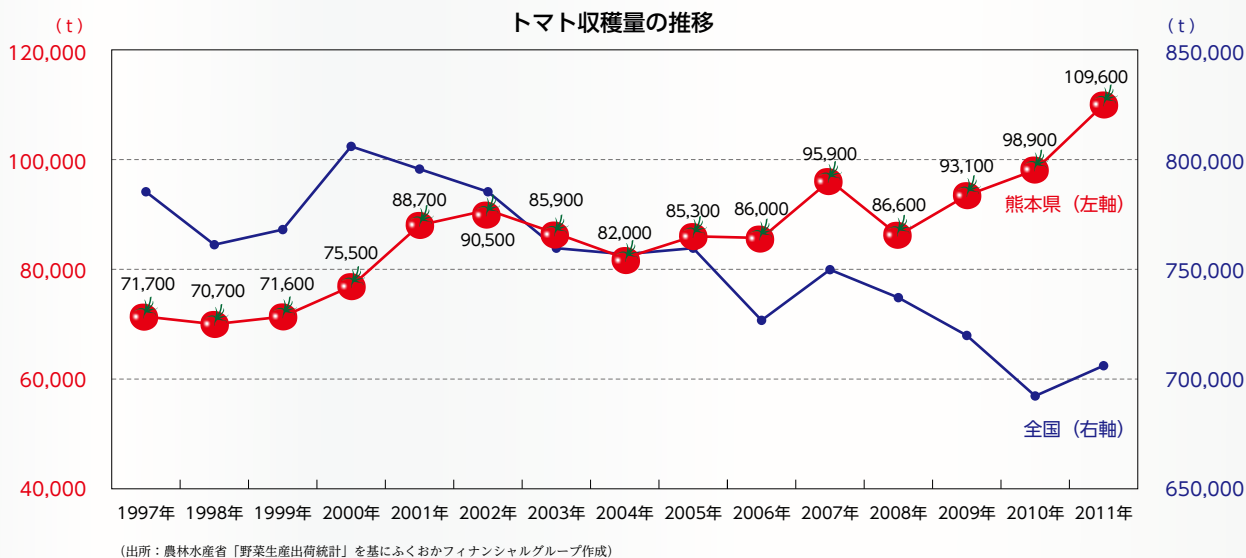
小誌の「トップに聞く！」（P.4～9）でもご紹介した通り、2000年頃を境に焼酎は全国に広く普及しました。今後は、全国での更なる消費拡大、そして世界にも本格焼酎が広がっていくことが期待されます。



## 熊本県のトマト収穫量

「トマトが赤くなると医者が青くなる」という諺があるように、トマトにはリコピンをはじめ栄養成分が豊富に含まれ、健康増進に効果があると言われています。そのトマトの収穫量が長年全国1位をキープしているのが、栽培に適した環境下にある熊本県です。近年加工品用トマトの輸入増等により全国のトマト収穫量が減少する中において、熊本県のトマト収穫量は、企業の農業参入や、1苗当たりの収量が多い多収性品種の開発等により増加しています。

私たちの食卓に美味しさと彩りを添え、健康を運んでくれるトマト。今後も熊本県はトマトの生産基地として期待されています。



## 福岡県の最近の経済動向

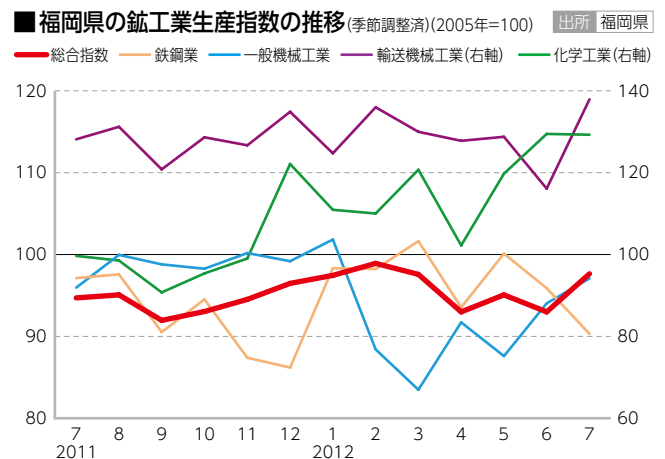
### 福岡県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが続いている

生産面で普通自動車等が増産となった輸送機械が上昇した他、大型小売店販売額や住宅投資でも前年を上回る等、福岡県の景気は、総じて緩やかな持ち直しの動きが続いています。

### 1.生産活動 | 総合指数は2ヵ月ぶりに上昇

7月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は97.6となり前月比4.9%上昇しました。

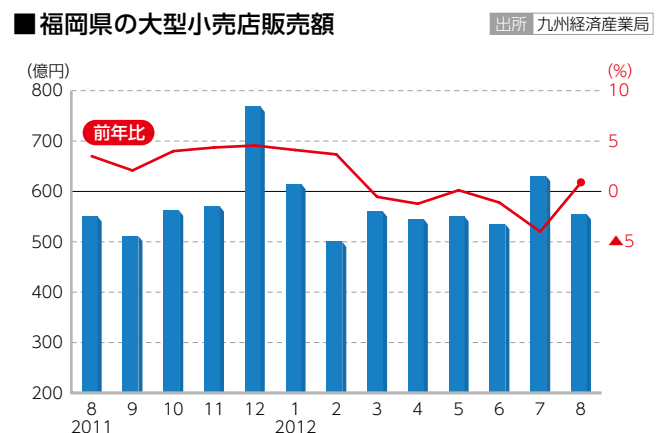
主要業種では、普通自動車等が増産となった輸送機械や、フラットパネルディスプレイ製造装置等の生産が増加した一般機械が上昇。一方、粗鋼等の生産が減少した鉄鋼が低下しました。



### 2.大型小売店 | 3ヵ月ぶりに前年を上回る

8月の大型小売店販売額は、前年同月比0.9%増の554億円で、3ヵ月ぶりに前年を上回りました。

猛暑の影響により、主力の飲食料品や夏物衣料等が好調に推移した他、涼感寝具等も順調に売上を伸ばしました。



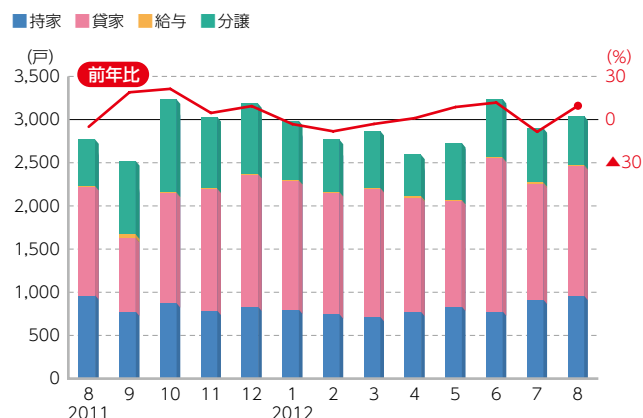
### 3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

8月の新設住宅着工戸数は、3,041戸と前年同月比9.7%増加し、2ヵ月ぶりに前年を上回りました。足許では、住宅着工の先行指標である建築確認申請件数において、戸建が中心である4号建築物の申請件数が回復基調にあり、着工戸数増加に向けた動きが見られます。

「貸家」は、大規模賃貸マンションが着工する等、順調な着工が続いており、前年を大幅に上回りました。「分譲」は、消費税増税の駆け込み需要を意識した、マンション等の好調な着工が続いています。

■福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



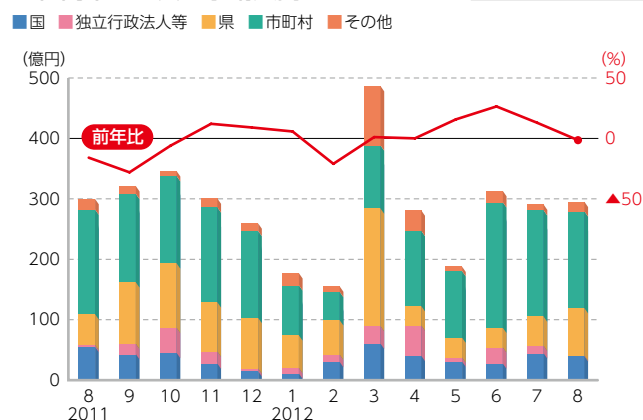
### 4.公共工事 | 6ヵ月ぶりに前年を下回る

8月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比10.5%減の711件、金額は同1.4%減の295億円となり、請負金額は6ヵ月ぶりに前年を下回りました。

発注者別では、五ヶ山ダム関連工事等の大型案件のあった「県」は前年を上回ったものの、「国」「独立行政法人等」「市町村」「その他」は大型案件に乏しく、前年を下回りました。

■福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



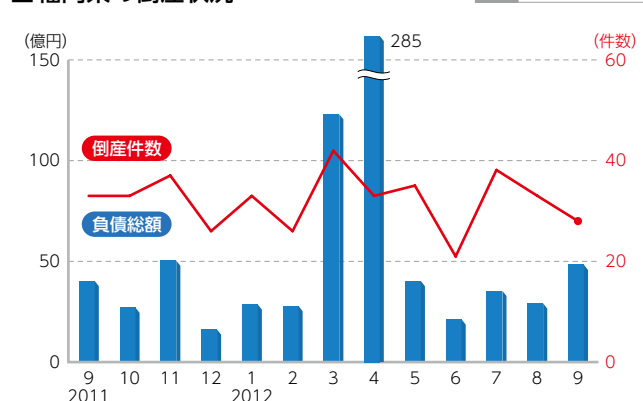
### 5.企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

9月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が前年同月比15.2%減の28件、負債総額が同19.3%増の48億円となりました。

製造販売業で約11億円の大型倒産があった他、医療業で民事再生法の適用申請（負債総額約9億円）が発生しました。

■福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



## 熊本県の最近の経済動向

### 熊本県の景気 | 持ち直しの動きに一部減速が見られる

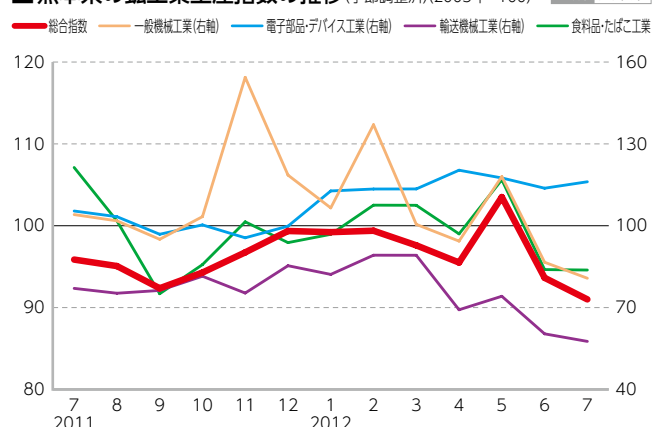
生産面で半導体製造装置等が減産となった一般機械に弱い動きが見られる他、住宅投資でも前年を下回る等、一部に減速が見られます。消費面では、大型小売店販売額が前年比ほぼ横這いの水準で推移しています。熊本県の景気は、総じて持ち直しの動きに一部弱さが見られます。

### 1.生産活動 | 総合指数は2ヵ月連続で低下

7月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は91.0となり、前月比2.8%低下しました。

主要業種では、スマートフォン向け半導体の生産が好調な電子部品・デバイスが上昇。一方、半導体製造装置等が減産となった一般機械や、四輪車関連の生産が減少した輸送機械が低下しました。

■熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値)(2005年=100) 出所 熊本県

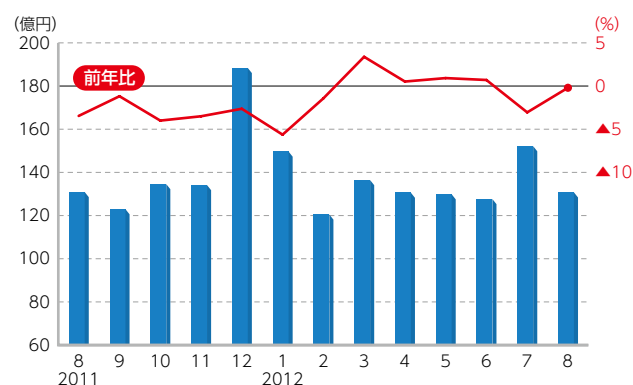


### 2.大型小売店 | 前年比ほぼ横這いの水準

8月の大型小売店販売額は、前年同月比0.2%減の131億円と、前年比ほぼ横這いの水準となりました。

猛暑の影響で、主力の衣料品は前年を上回ったものの、高額商品や家電等が低調に推移しました。

■熊本県の大型小売店販売額 出所 九州経済産業局





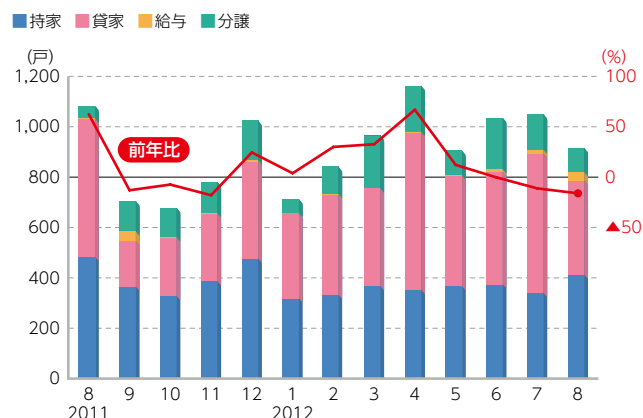
### 3.住宅建設 | 3ヵ月連続で前年を下回る

8月の新設住宅着工戸数は、916戸と前年同月比16.2%減少し、3ヵ月連続で前年を下回りました。前年同月に、震災による建設資材調達難の解消を要因とした着工戸数の増加が見られており、今年はその反動により前年を下回っています。

「分譲」は前年を上回ったものの、「持家」「貸家」は前年を下回りました。

■ 熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



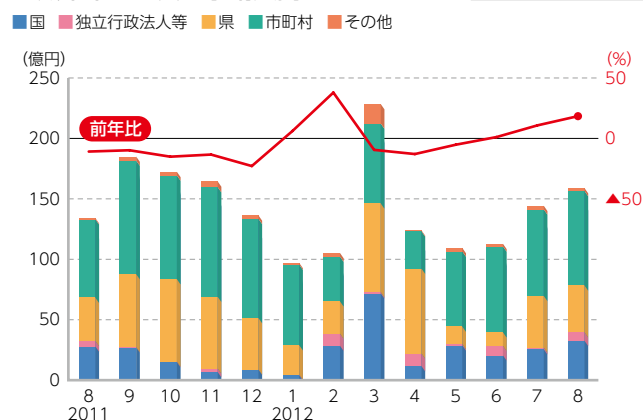
### 4.公共工事 | 3ヵ月連続で前年を上回る

8月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比2.7%増の526件、金額は同18.4%増の159億円となり、請負金額は3ヵ月連続で前年を上回りました。

発注者別では、大学付属病院関連工事等の大型案件のあった「独立行政法人等」が前年比で増加した他、保険福祉センター新築工事等のあった「市町村」も前年を上回りました。

■ 熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



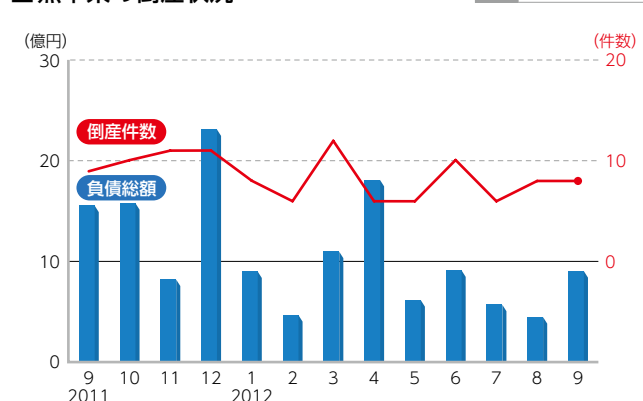
### 5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前年を下回る

9月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数は前年同月比11.1%減の8件、負債総額は同43.0%減の約9億円となりました。

運送業で販売不振を原因とする約4億円の倒産が発生しましたが、中小企業金融円滑化法等の金融支援制度が倒産抑制に寄与し、負債総額は概ね抑制された水準で推移しています。

■ 熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



## 長崎県の最近の経済動向

### 長崎県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが続いている

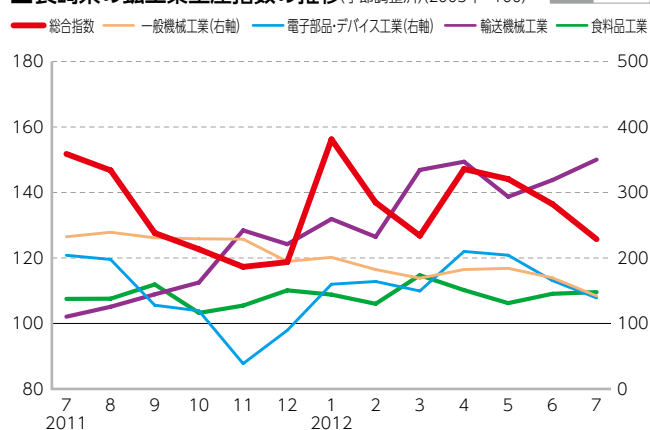
生産面は、新造船が高操業を維持している等、緩やかな持ち直しの動きが続いています。消費面では、大型小売店販売額が13ヵ月ぶりに前年を上回り、持ち直しの動きが見られます。

### 1.生産活動 | 総合指数は3ヵ月連続で低下

7月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は125.8となり、前月比8.0%低下しました。

主要業種では、新造船が高操業を維持している輸送機械が上昇した一方、海外需要の減少で半導体集積回路が減産となった電子部品・デバイスや、タービン等の生産が減少した一般機械が低下しました。

■長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値)(2005年=100) 出所 長崎県

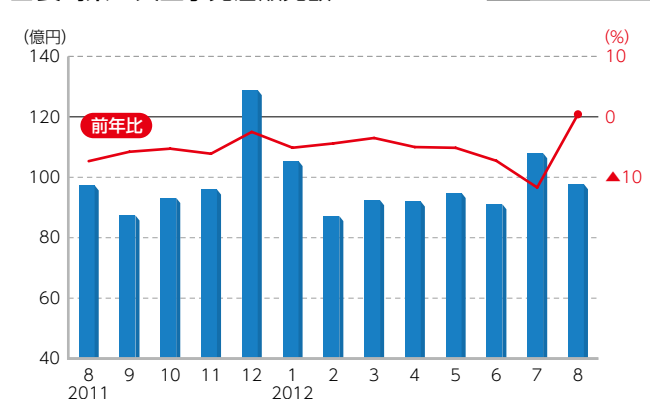


### 2.大型小売店 | 13ヵ月ぶりに前年を上回る

8月の大型小売店販売額は、前年同月比0.3%増の98億円と、13ヵ月ぶりに前年を上回りました。

昨年7月末の百貨店閉店から1年経過したことや、猛暑の影響により主力の衣料品が好調に推移したこと等から、13ヵ月ぶりの前年同月比プラスとなりました。

■長崎県の大型小売店販売額 出所 九州経済産業局





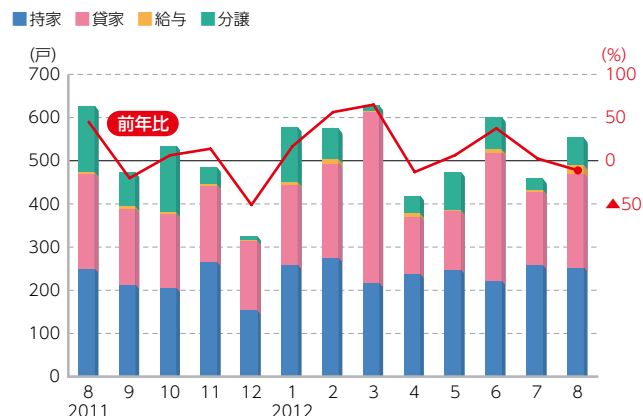
### 3.住宅建設 | 4ヵ月ぶりに前年を下回る

8月の新設住宅着工戸数は、553戸と前年同月比11.8%減少し、4ヵ月ぶりに前年を下回りました。

「持家」「貸家」は、前年並み水準となったものの、「分譲」は、前年同月の大型マンション着工の反動で、前年を大きく下回りました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



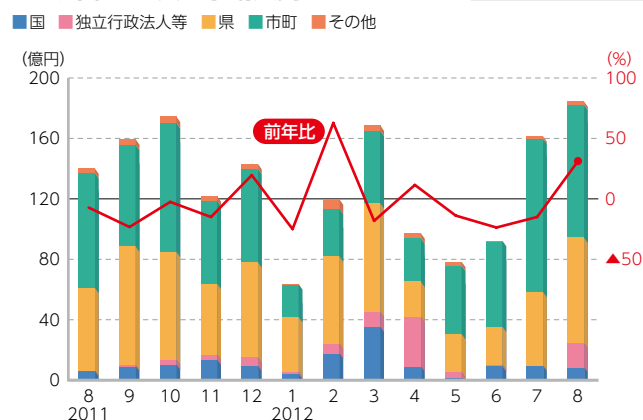
### 4.公共工事 | 4ヵ月ぶりに前年を上回る

8月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比1.6%増の494件、金額は同31.3%増の184億円となり、請負金額は4ヵ月ぶりに前年を上回りました。

発注者別では、浄水場関連工事等の大型案件のあった「市町」が前年比で増加した他、港湾関連工事のあった「県」や、大学改修工事等のあった「独立行政法人等」も前年を上回りました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



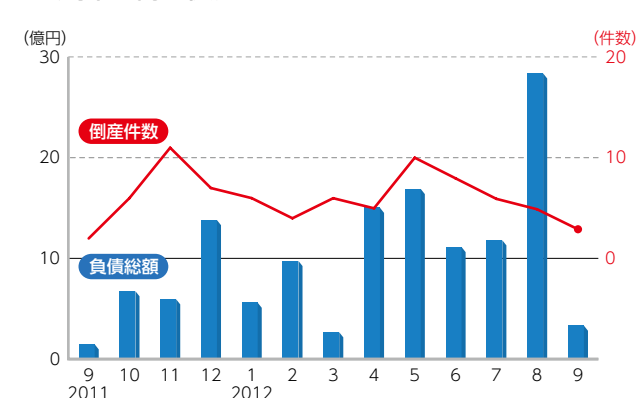
### 5.企業倒産 | 負債総額は今年3月以来の低い水準

9月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、3件の負債総額約3億円となり、負債総額は今年3月以来の低い水準となりました。

水産養殖業で約3億円の倒産が発生したものの、1億円以上の倒産は1件に留まりました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ





## 佐賀県の最近の経済動向

### 佐賀県の景気 | 持ち直しの動きに鈍化の兆しが見られる

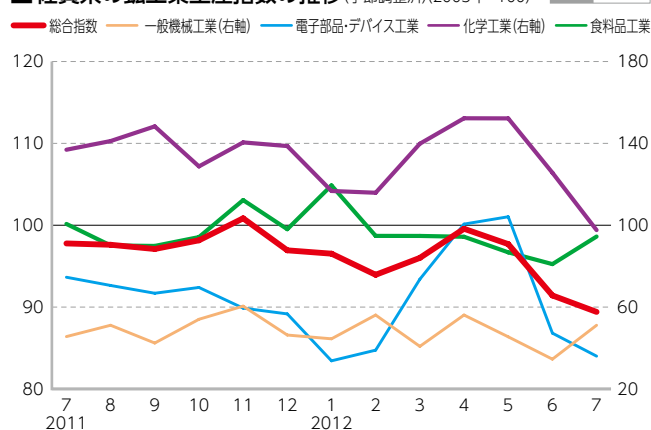
生産面は、化学や電子部品・デバイスが低下する等、弱い動きが見られます。大型小売店販売額や住宅投資でも前年割れの状態となる等、佐賀県の景気は、総じて持ち直しの動きに鈍化の兆しが見られます。

### 1.生産活動 | 総合指数は3ヵ月連続で低下

7月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は89.5となり、前月比2.2%低下しました。

主要業種では、金属工作機械等が増産となった一般機械や、食用アミノ酸等の生産が増加した食料品が上昇した一方、医薬品等が減産となった化学や、電子部品・デバイスは低下しました。

■ 佐賀県の鉱工業生産指数の推移 (季節調整値)(2005年=100) 出所 佐賀県



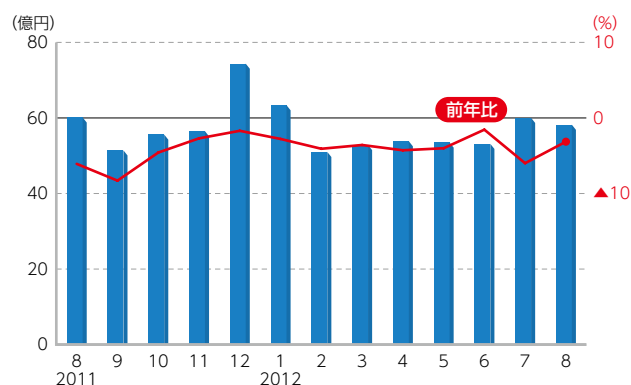
### 2.大型小売店 | 13ヵ月連続で前年を下回る

8月の大型小売店販売額は、前年同月比3.2%減の58億円と、13ヵ月連続で前年を下回りました。

猛暑の影響で衣料品は好調に推移したものの、主力の飲食料品が前年を大きく下回る等、全体で前年を下回りました。

■ 佐賀県の大型小売店販売額

出所 九州経済産業局





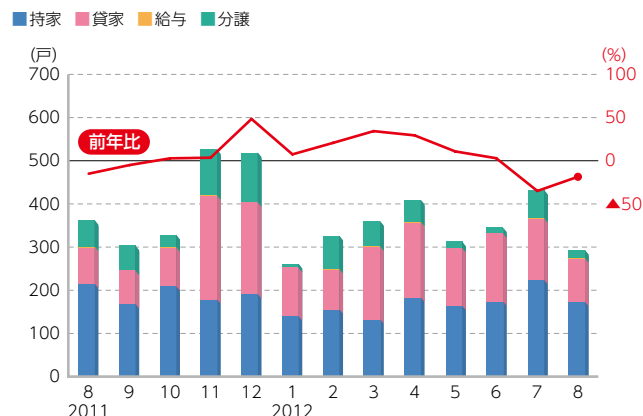
### 3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を下回る

8月の新設住宅着工戸数は、293戸と前年同月比19.1%減少し、2ヵ月連続で前年を下回りました。

「貸家」は前年を上回ったものの、「分譲」「持家」が前年を大幅に下回り、全体で低調な着工となりました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



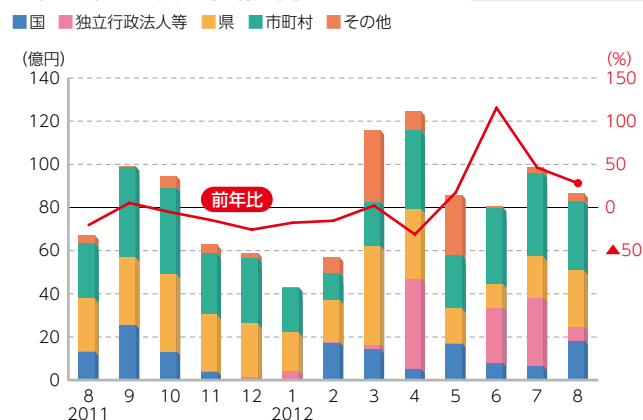
### 4.公共工事 | 4ヵ月連続で前年を上回る

8月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比10.2%増の271件、金額は同28.8%増の87億円となり、請負金額は4ヵ月連続で前年を上回りました。

発注者別では、前月に引き続き大学改修工事等の大型案件があった「独立行政法人等」が前年比で増加した他、自衛隊駐屯地における非常用電源施設新設等工事のあった「国」や、小中学校屋内運動場等工事のあった「市町村」も前年を上回りました。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



### 5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前年を上回る

9月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数は前年同月比50.0%増の6件、負債総額は同176.9%増の約7億円となりました。

ホテル業で販売不振を原因とする約3億円の倒産があった他、流通サービス業や建設業で1億円以上の倒産が発生しました。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

